レンジフードファン

取扱説明書

もくじ

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

この説明書は再生紙を使用しています。

1802 W281

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告 ：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

⚠注意 ：**人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

分解・修理改造禁止

● **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと**
火災・感電・けがの原因となります

水かけ禁止

● **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

使用禁止

● **交流 100 V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因となります

ほこりをとる

● **電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと**
火災の原因となります

スイッチを切る

● **お手入れやランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと**
感電やけがをすることがあります

操作禁止

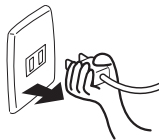
● **ガス漏れのときは、スイッチを入／切しないこと**
爆発・引火のおそれがあります

安全上のご注意

⚠注意

プラグを持って抜く

● **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと**

コードに傷がつき、火災や感電の原因になります

プラグを抜く

● **長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

コンセントを抜く

運転停止

● **調理中、油に火がついたときは、運転を止めること**

運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です

取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります

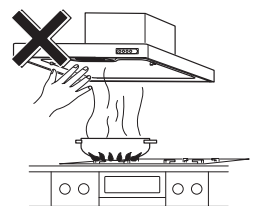
接触禁止

● **運転中は指や物を絶対に入れないこと**

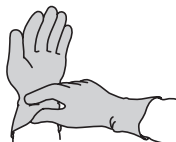
けがをするおそれがあります

接触禁止

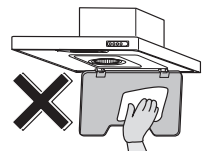
● **調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと**

整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

落下注意

● **整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと**

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

使用禁止

● **本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと**

本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります

落下注意

● **部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

使用禁止

● **指定以外のランプを使わないこと**

ランプカバー周辺が高温となりやけどのおそれがあります

高温注意

● **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**

やけどのおそれがあります

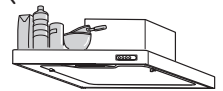
接触禁止

● **ランプカバーおよびその周辺には、手を触れないこと**

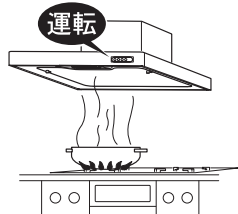
高温になるためやけどをすることがあります

禁　止

● **レンジフードファンの上に物を置かないこと**

落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります

使用上のお願い

● **調理器具を使用するときは、必ずレンジフードファンを運転してください**

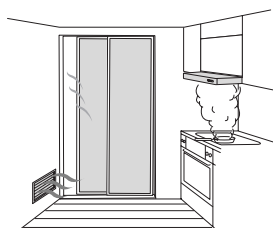
運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります

● **キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードファンの表面が結露することがあります**

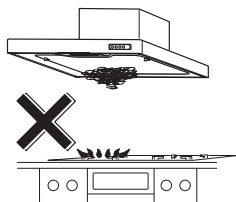
この場合は拭き取って使用してください

● **部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります**

レンジフードファン近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

● **レンジフードファンの運転中は給気をおこなってください**

レンジフードファン反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します

● **調理器具の空焚きは絶対にしないでください**

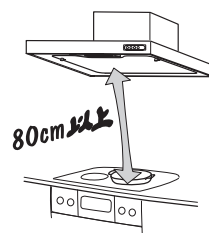
製品の損傷や高熱による故障の原因となります

● **エアコンの風が直接あたらないようにしてください**

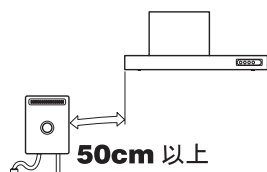
風を受けると、吸い込みが悪くなります。
オープンな場所では特にレンジフードファンから漏れやすくなります

● **IHクッキングヒーター（電気こんろ）を使用時、レンジフードファンがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります**
お手数ですがその際は滴下する前に拭き取ってご使用ください

特に冬期など気温の低い状況では結露がしやすくなりますのでご注意ください

● **調理器具の真上、80cm以上に取り付けてあるか確認してください**

火災予防のため、製品の下端から調理器具の真上まで80cm以上必要です

● **湯沸器はレンジフードファンから50cm以上離してください**
レンジフードファンの下部には湯沸器を絶対に取り付けないでください

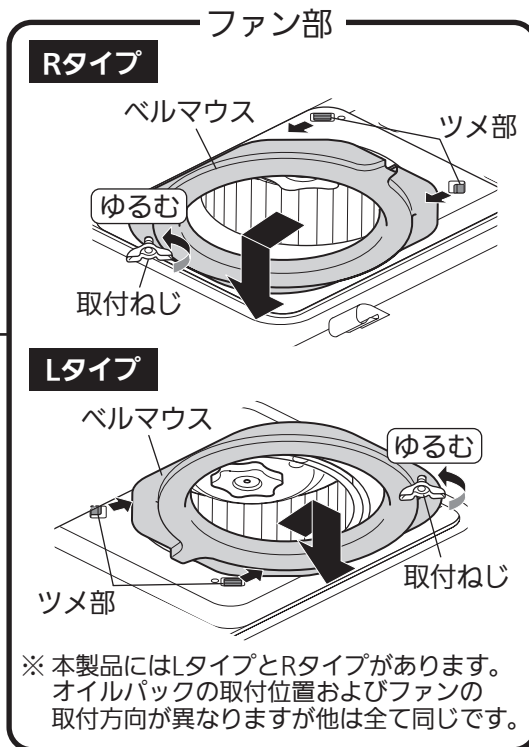
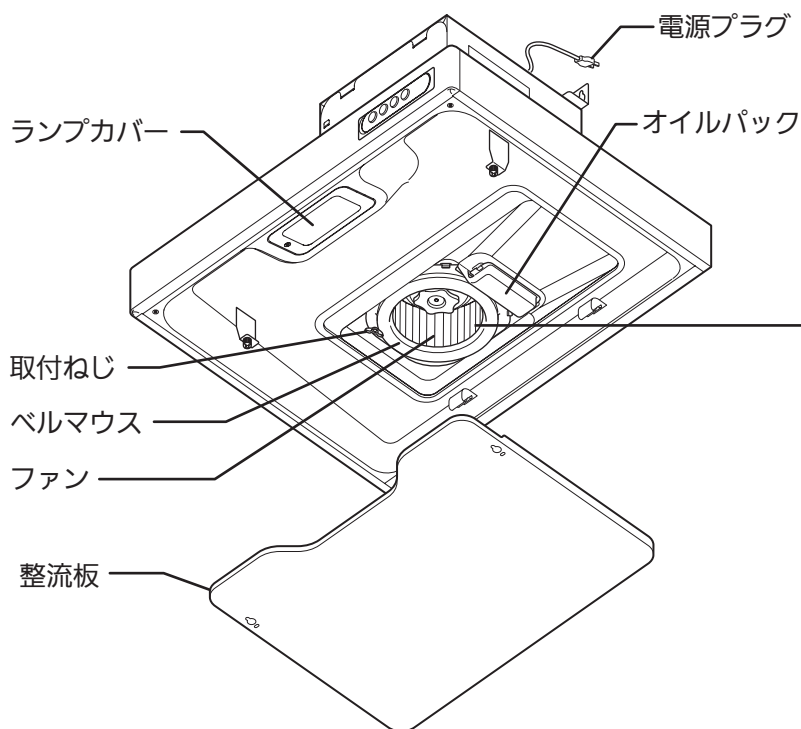
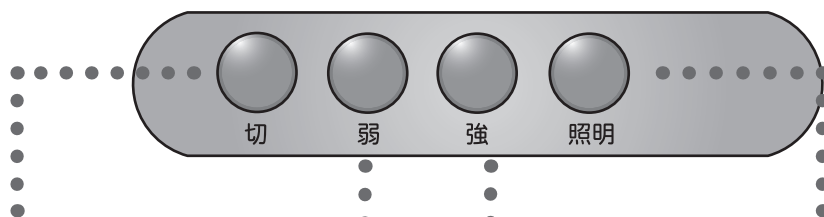
製品の損傷や高熱による故障の原因となります

● **グリル付の調理器具と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルが結露することがあります。**

この場合は拭き取って使用してください

使いかた

各部のなまえ

本製品はフィルターレスなので、お手入れの手間が省けます。
お手入れが大変だったフィルターがないため、お手入れが楽にできます。
調理中に発生した油や水蒸気は、ファンの遠心力で分離されて、
独自のオイルキャッチ構造によりオイルパックに回収します。

※ 本製品にはLタイプとRタイプがあります。
オイルパックの取付位置およびファンの
取付方向が異なりますが他は全て同じです。

操作スイッチ

切スイッチ

切

スイッチを押すと運転を停止します。
(照明は消えません)

照明入／切スイッチ

照明

スイッチを押すと照明が点灯します。
スイッチを押すたびに入／切を繰り返します。

運転・風量切替スイッチ

弱　強

いずれかのスイッチを押すとその風量で運転を開始します。
各スイッチを押すたびに風量が変わります。

弱：煙の少ないとき。静かに運転したいとき。
強：煙の多いとき。早く換気したいとき。

1802 W281

お手入れのしかた

⚠ 警告

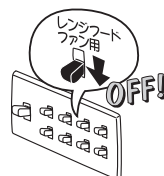
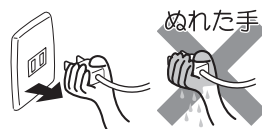
スイッチを切る

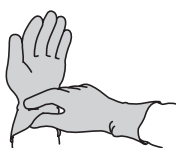
● **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ることまた、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと**
感電やけがをすることがあります

分電盤

水かけ禁止

● **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

⚠ 注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります

お手入れの際のお願い

● **おそうじはこまめにする**
・油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】

● **中性洗剤を使う**
・おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズがついたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどく、アルカリ性合成洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

レンジフードファンの油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ合成洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。
お問い合せは裏表紙をご覧ください。

● **熱湯は変形のもと**
・６０℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。

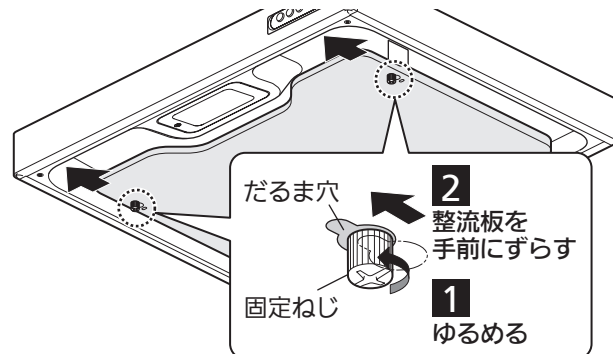
● **ファンを変形させない**
・ぶつけたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。

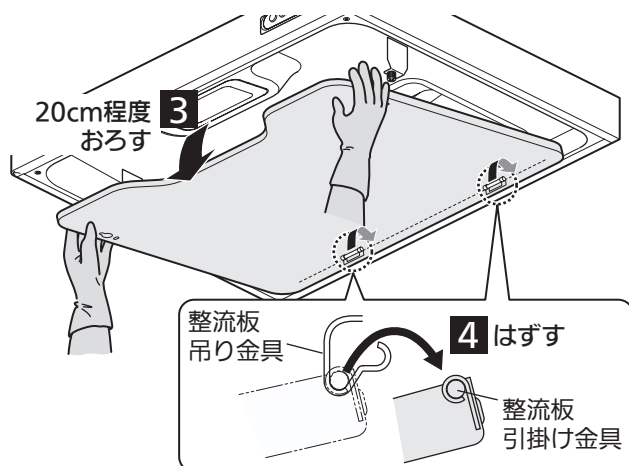
● **ファンをはずした状態では運転しない**
・ファンをはずした状態で運転しないでください。モータが過熱して故障の原因になります。

お手入れのしかた

取りはずしのしかた

1 **整流板をはずします。**

1）整流板を固定している左右の固定ねじをゆるめ、固定ねじがだるま穴の中心部にくるように整流板を手前にずらします。

2）整流板を両手で支え、手前をゆっくりと20cm程度おろした状態で整流板の奥を少し持ち上げ、フードの整流板吊り金具から整流板引掛け金具をはずします。

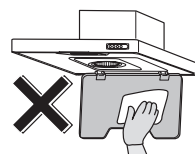
※ 必ず左右同時にはずしてください。
整流板吊り金具の変形の原因になります。

お願い

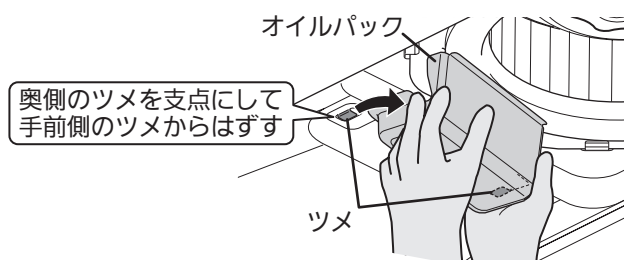
- 取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。
- 整流板のお手入れの際は、整流板引掛け金具や整流板吊り金具を変形させないようにご注意ください。変形させてしまった場合、整流板が取り付かなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

落下注意

- **整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること**
- **整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと**

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

2 **オイルパックをはずします。**

油をこぼさないようオイルパックを水平に保ちながら、回すようにして片側ずつ本体のツメからはずします。

お願い

- ご使用の状況により油がたまらないことがありますが、異常ではありません。

Lタイプ	Rタイプ

オイルパック
奥側のツメを支点にして
手前側のツメからはずす
ツメ

※ 以降、説明図はLタイプですが、Rタイプも同様です。

1802 W281

お手入れのしかた

組み立てのしかた

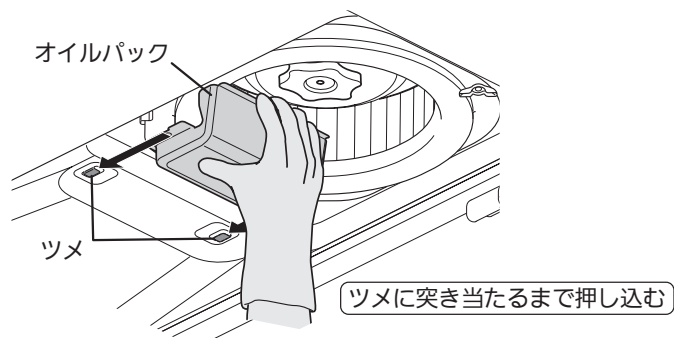
⚠ 警告

取付注意

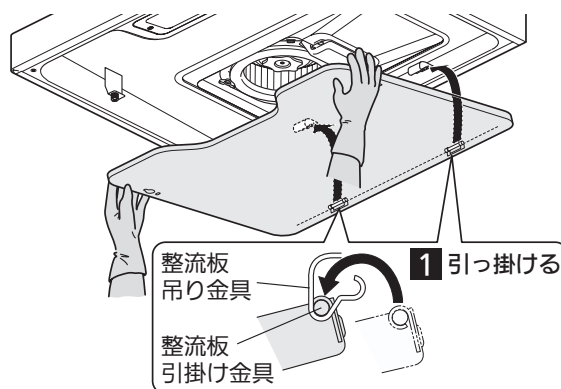
● **お手入れの際にはずした整流板やオイルパックの取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります

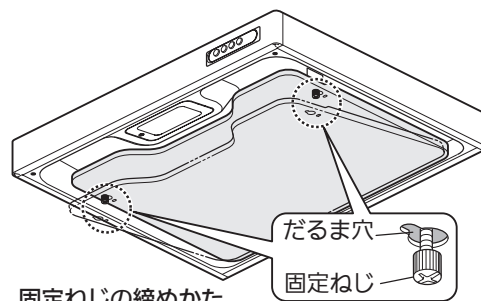
1 **オイルパックを取り付けます。**

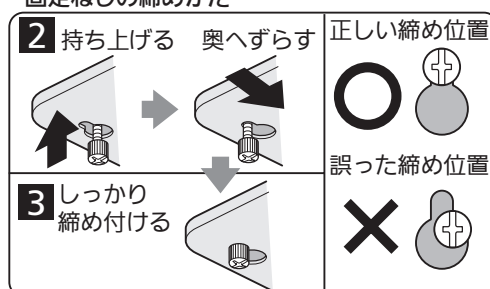
本体のツメ部分にオイルパックを差し込み、突き当たるまで奥に押し込みます。

2 **整流板を取り付けます。**

1）整流板引掛け金具をフードの整流板吊り金具に引っ掛けます。

2）前側をゆっくり持ち上げてフードの整流板固定ねじをだるま穴に通し、奥にずらします。

3）固定ねじをしっかり締め付けます。

4）整流板を軽く上下に動かしてみて確実に取り付けられたことを確認してください。

固定ねじの締めかた

お願い

●整流板の固定は確実に行ってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。

お手入れのしかた

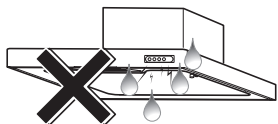
お手入れのしかた

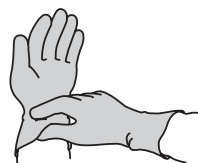
取りはずしのしかた、組み立てのしかたは
7～8ページをご参照ください。

⚠ 警告

水かけ禁止

● **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

⚠ 注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

こまめにおそうじしてください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

■ オイルパック

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
やわらかい布などで油をふきとり、ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。
その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。

お願い

● オイルパックは食器洗い乾燥機に入れないでください。
塗膜の劣化により、塗装が剥がれるおそれがあります。

■ 整流板

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

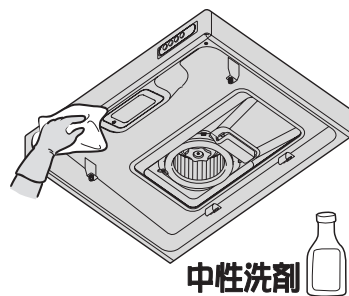
お願い

● 裏面は汚れが強い場合があります。この場合、中性洗剤溶液に浸して、油が落ちやすくなってから汚れをふきとってください。
● 整流板は必ずフードから取りはずしてお手入れをしてください。
● はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。（変形・キズの原因となります。）

1802 W281

お手入れのしかた

■ 本体

（汚れたらその都度お手入れしてください。）
ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

※電源プラグを抜いた場合は、完了後電源プラグを差し込んでください。
ブレーカを切った場合は、ブレーカを入れてください。

ファンのお手入れのしかた

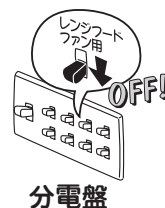
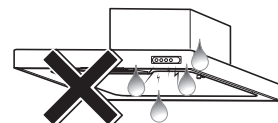
⚠ 警告

スイッチを切る

● **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**
また、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと
感電やけがをすることがあります

● **調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと**

水かけ禁止

● **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

⚠ 注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

落下注意

● **部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

お手入れのしかた

汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順で行ってください。

※ 図はＬタイプの場合で説明していますが、Ｒタイプの場合も同様の方法で行います。

■ ファンのはずしかた

1 **取りはずしのしかた（7ページ）を参照して、整流板およびオイルパックをはずします。**

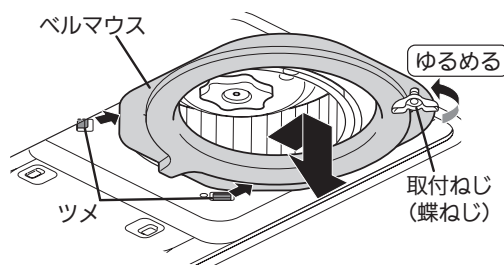
お願い

●不安定な姿勢で整流板をはずしたり、整流板を落としたりしないでください。
落下によるけがや器具類破損の原因になります。

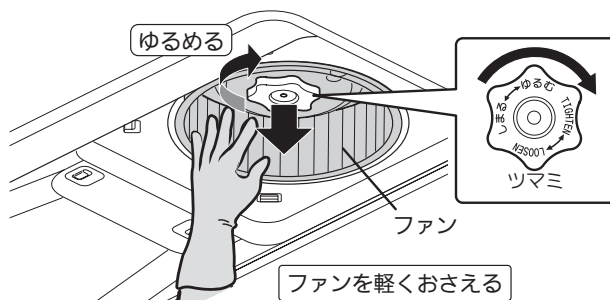
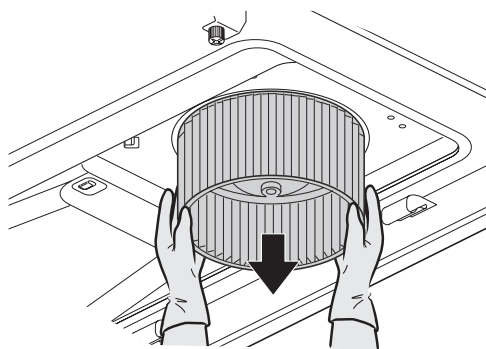
2 **ベルマウスをはずします。**

ベルマウスの取付ねじ（蝶ねじ）を手でゆるめてはずしたあと、２ヶ所のツメをスライドさせてベルマウスをはずします。

お願い

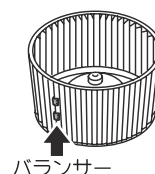
●取りはずしの際は、ベルマウスに油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。

3 **ファンをはずします。**

1）ファンが回らないように軽く押さえ、ツマミを「ゆるむ」（時計回り）の方向に回してはずします。

※ファンは軽く押さえてください。（強く押さえると変形することがあります。）

2）両手で支え、ファンを取り出します。

お願い

●ファンを強く押さえたり、ぶつけたり、落としたりして変形させないでください。
（異常な音や振動の原因となります。）

●ファンの回転バランスをとるために、バランサー（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。
（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。）

1802 W281

お手入れのしかた

■ ファンの洗いかた

ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。
汚れがひどいときは台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置きした後、やわらかいスポンジや布で洗ってください。
その後洗剤が減らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。

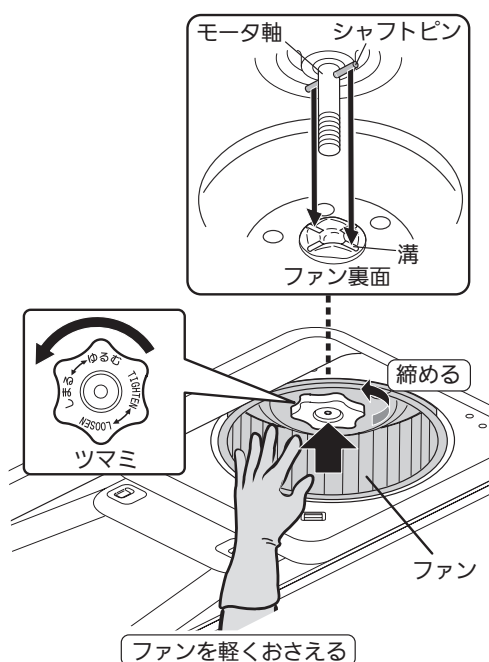
■ ファンの取り付けかた

1 ファンを取り付けます。

1）ファン裏面の溝がモータ部のシャフトピンに合うように差し込みます。

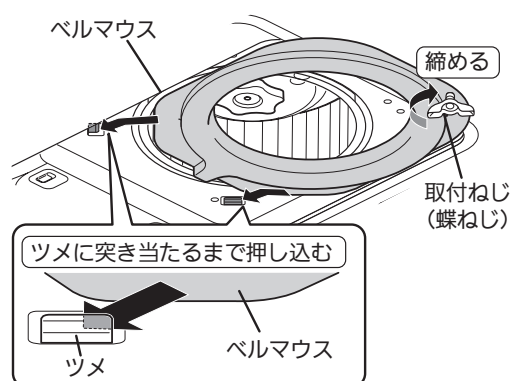
お願い

●ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように確実に差し込んでください。
（溝がシャフトピンに合っていないと異常音や落下によりケガをするおそれがあります。）

2）ファンが回らないように軽く手でおさえ、ツマミを「しまる」（反時計回り）の方向に回して締め付けます。
※ファンは軽くおさえてください。（強くおさえると変形することがあります。）

2 ベルマウスを取り付けます。

ベルマウスの２ヶ所のツメを差し込み、取付ねじ（蝶ねじ）で締め付けてください。
ベルマウスを取り付けてからファンを手で回してこすれ音などがないことを確認してください。

お願い

●ファン・ベルマウスは確実に取り付けてください。
（異音や故障の原因となります。）

3 組み立てのしかた（８ページ）を参照して、オイルパックおよび整流板を取り付けます。

※電源プラグを抜いた場合は完了後、電源プラグを差し込んでください。
ブレーカを切った場合は、ブレーカを入れてください。

お手入れのしかた

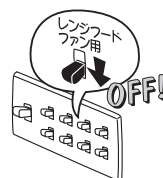
ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、下記の市販の**ミニ電球**または**電球形蛍光灯**を購入し、交換してください。

●ミニ電球………定格 100 V　40 W形　口金 E17
●電球形蛍光灯…定格 100 V　電球 40 W形　口金 E17
　形名 EFD10E 形（取付可能寸法：長さ 91㎜以下、直径 45㎜以下）

⚠警告

スイッチを切る

● **ランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること　また、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと**
感電やけがをすることがあります

分電盤

⚠注意

使用禁止

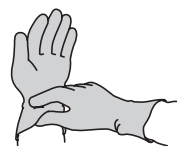
● **指定以外のランプを使わないこと**
ランプカバー周辺が高温となり、故障ややけどのおそれがあります

高温注意

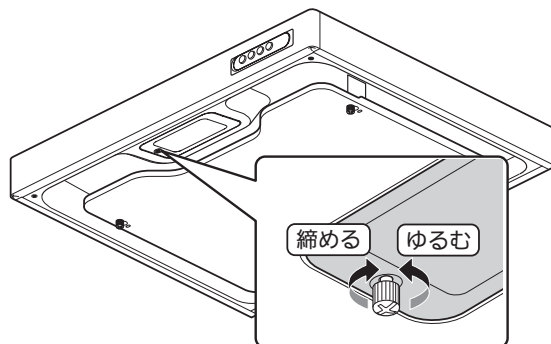
● **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**
やけどのおそれがあります

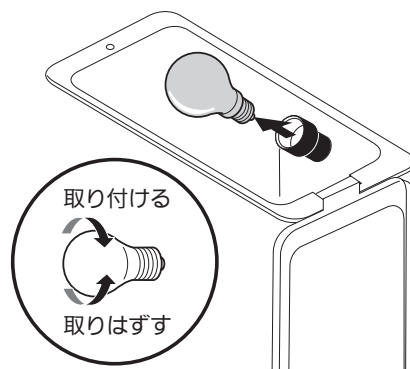
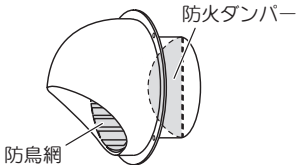
手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

1802 W281

お手入れのしかた

1 **ランプカバーを開きます。**

ランプカバーを手で支えながら、取付ねじをゆるめて開きます。
（取付ねじはランプカバーからはずれません。）

2 **ランプを交換します。**

切れたランプを取りはずし、ソケットに新しいランプを確実に固定します。

3 **ランプカバーを取り付けます。**

ランプカバーの取付ねじをしっかり締め付けてランプカバーを固定します。

※電源プラグを抜いた場合は完了後、電源プラグを差し込んでください。
ブレーカを切った場合は、ブレーカを入れてください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに　次の点をもう１度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ● ファンがまわらない。	● 分電盤のブレーカが「切」になっている。 ● 電源プラグがはずれている。	● 分電盤のブレーカを「入」にする。 ● 電源プラグを差し込む。
● 照明がつかない。	● ランプが切れている。 ● ランプの取り付けがゆるんでいる。	● ランプの交換をする。 ● ランプを取り付け直す。（13、14 ページ参照）
● 異音がする。	● ファンのツマミがゆるんでいる。 ● ベルマウスの取付ねじがゆるんでいる。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● 外からの給気が十分でない。	● ファンのツマミを締め直す。 ● ベルマウスの取付ねじを締め直す。（12 ページ参照） ● ファンを取り付け直す。（12 ページ参照） ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。
● 吸い込みが悪い。	● 外からの給気が十分でない。 ● エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。 ● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。 	● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ● 風があたらないようにする。 ● 修理を依頼する。 ● 修理を依頼する。
● リモコンスイッチを操作しても動作しない。（別売リモコンを使用している場合）	● 電池が消耗している。 ● 電池の向きが間違っている。 ● リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。	● 電池を交換する。 ● 電池を正しく入れる。 ● 発信部・受信部をそうじする。

1802 W281

仕 様

定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量（m^3/h）		騒音 (dB)	製品質量 (kg)
				0Pa 時	100Pa 時		
100	強	50	95	540	430	48	600 幅：16. 0 750 幅：18. 0 900 幅：20. 5
		60	110	490	440	46	
	弱	50	59	330	―	36	
		60	60	290	―	34	

●消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。
●電球の消費電力：40 W（ミニ電球の場合）
●騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。
※レンジフードファンに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

● 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後６年間保有しています。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

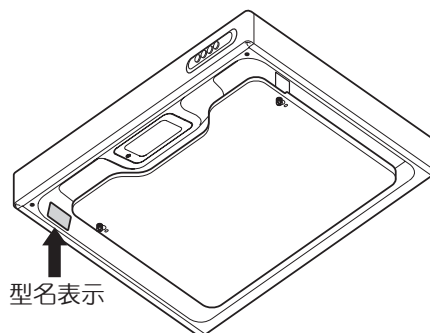
● 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において１年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
⑴ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
⑵ 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

修理を依頼されるときは

15 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　名	レンジフードファン
型　名	
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくとサービスを依頼されるときに便利です。

レンジフードファンの型名は、本体の左側面内側に表示してあります。

愛情点検

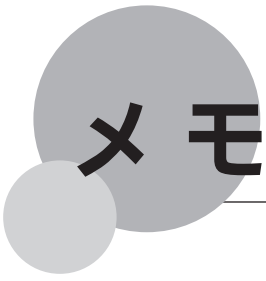
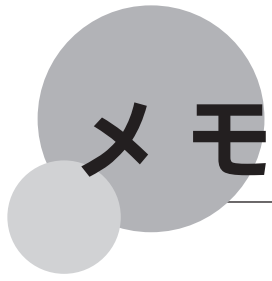
★長年ご使用の製品の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	● スイッチを入れても、動かないときがある。 ● 運転中に異常な音や振動がある。 ● 焦げ臭いにおいがする。 ● その他、異常・故障がある。

ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

1802 W281

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

（設計上の標準使用期間とは）

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相　100V	
	周波数	50Hz 又は／及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 a) 台所　2 410時間／年	
注 a)	常時換気（24時間連続換気）のものは、8 760時間／年とする。		

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1．当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2．当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

お客様メモ	購入店名	電話　（　　）
	（システムキッチンメーカー名：	）
	ご購入年月日	平成　　年　　月　　日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』の
お取り扱い窓口は
フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ　0120−227−266
ＦＡＸ　042−768−3383
ホームページ　http://www.fuji-tech.jp/
受付時間 9:00 〜17:45（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔製造元〕 富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１−９

お客様ご相談窓口　0120−071−686
受付時間 ９：００〜18:00（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）